鳥の多様な形

問題　展示番号６

（１）鳥の体は飛ぶことに特殊化しており、どの種類も基本構造は共通していて変わりません。しかし、嘴や足など、各部位の形状の異なる９０００種が知られ,多様な生活様式をもって適応しています。ここでは、餌の違いによって６つのグループに分けて配列してあります。６つの餌の違いと、それぞれの鳥グループとを線で結んでください。

肉　食　＊	①	ツバメ類・ヒタキ類・モズ類・キツツキ類 ・潜水性カモ類・チドリ類・シギ類・トキ類 ・ヘラサギ類・カワガラス類
魚　食　＊	②	タカ科・ハヤブサ科（昼行性） フクロウ科（夜行性）
小動物食＊	③	カワセミ類・アジサシ類 サギ類・コウノトリ類 ペンギン類・カイツブリ類 ウミスズメ類・ウ類
死肉食　＊	④	ハゲワシ類・コンドル類
植物食　＊	⑤	カラス類・ツル類 クイナ類・ツグミ類 イワヒバリ類
雑　食　＊	⑥	キジ類・ガン類・ハクチョウ類 カモ類・ハト類 サイチョウ類・オオハシ類 タイヨウチュウ類・ハチドリ類 カモ類・フラミンゴ類

参考:『類』という語は良く使われますが、正式な分類の用語ではありません。
ここではフクロウ科とメンフクロウ科を合わせて『フクロウ類』と呼ぶなど、大まかなグループ分けのくくり方として、『フクロウの仲間』と言うような意味で使用しています。

（２）鳥の嘴や足の形は、餌のとりかたに応じて多様化しました。
標本を見ながらそれぞれの特徴を整理してください。

空欄①～⑧に適する説明文を、下のア～クから選んで入れてください。

		餌	足	嘴（くちばし）
1	フクロウ類・タカ類	肉食（ほ乳類・鳥類）魚食	①	鋭い・獲物を引き裂く
2	サギ・コウノトリ類	魚食	②	長い
3	ペンギン類	③	④	頑丈で分厚い
4	ウグイス類	小動物食（虫）	枝をつかむ	⑤
5	ツバメ類	⑥		幅広い口で飛びながら空中で虫を捕らえる
6	キツツキ類	小動物食（木の幹内の昆虫）	2本づつ前後に開いた指	⑦
7	カラス	雑食（地上の昆虫・種子、樹状の果実、動物の死骸、卵やヒナ）	頑丈	⑧

ア、魚食
イ、小動物食（空中の虫）
ウ、頑丈
エ、木に穴をあける鑿（のみ）
オ、ピンセットの様に虫を摘み取る
カ、浅瀬に立つ長い足
キ、からだの後についているので
　水の抵抗を受けない足
ク、鋭い爪で獲物を捕える